

# アガパンサス

東海教区 女性会  
第20期 第1号  
会長 鈴木貴美子  
編集 牧 摂



主 題 「キリストが望んでおられる」 一生かされる喜びと祈り—

主題聖句 キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。  
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

(第2コリント5章17節)



## 巻頭言 「上から喜びをいただいて」 藤井邦夫

少し難しい表現になりますが、信仰には客観的な面と主観的な面があると思います。客観的な事実、すなわちイエス・キリストがこの世に生まれ、十字架の死を受けられ、復活された。それは私たちの罪の贖い出来事、そして救いとまことの命にあずかる出来事であったということは私たちの外にあり、聖書が証している客観的な事実です。しかし同時にその出来事が自分にとってのものとなり、そこに救いの解放を感じ、自由と喜びを感じるということは、自分がそのように感じる主観的なものでもあります。そしてわたしは信仰にはこの両面があって両方とも大切な要素であると思います。ただどちらに重点を置いているかによって信仰の形態が違ってきます。ルーテル教会は客観的なところに重点を置いており、いわゆる福音派と呼ばれ、元気の良い讃美歌聖歌を好む教派は主観的なものに重点を置いていると思います。客観的なところに重点を置いているところの長所は、救いが確かでありその歩みに安定感があります。逆に短所は、ふと自分を見た時、何があるのだろう、喜びも感じていないという経験をすることです。主観的なことに重点を置いているところの長所は熱があり元気なところですが、短所は信仰が不安定なこと、自分の状況に重点を置いているので自分の状況はいつも変化するのでどうしても不安定になります。

教区の女性会がⅡコリント 5:17の客観的なものを表す聖句を主題聖句と選ばれましたが、同時にテーマは「生かされる喜びと祈り」です。この喜びは私たちのうちに生じるある意味での主観的なものです。ここ何回かの女性会のテーマにはいつも「喜び」がついています。それは教会の中心的な働きをしていてふと気づくと喜びがない、空しいと感じるところから来て、喜びと言う主観的なものに心を向けられたのだと思います。言いたかったことは喜び、喜びと言って自分の中にある喜びに目が行って、喜びがないと一喜一憂しているのではなく、真の喜びは客観的な事実、それをつたえるみことばに目を向けて立つ。そのうちにその出来事に気付かされて、自分のうちに喜びが与えられるということです。

ドイツの詩人ゲーテの詩に旅人の夜の詩と言うのがありその一つに次のような詩があります。

峰々に 憩いあり  
 梢に かよう 風もなく  
 森に 小鳥の声も 止みぬ  
 待て しばし やがて  
 なれも憩わん



自分を検討し喜びがあるかを見ても、喜びは見いだせないでしょう。そうではなく、今期のパウロの言葉の前にたたずめば、やがて時が来て気付きが与えられ、聖書に「心の目が開かれ」とあるようにキリストの喜びに気付きが与えられるでしょう。

(静岡教会牧師 東海教区 社会・奉仕部長)

## 『ご挨拶』 東海教区女性会会長 鈴木貴美子(名古屋めぐみ)

どうして私が会長を……と嘆いたこともありましたが、今は与えられたこの時を神様に委ね、用いてくださるよう祈っています。

「キリストに結ばれる人は、だれでも、新しく創造されたものなのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」これは今期の教区女性会の主題聖句(コリントⅡ5:17)です。わたしたちの外なる人が衰えても内なる人は新たにされていきます。

6月に神戸で開催された全国総会はその第1歩のように感じました。連盟から提案された審議事項はすべて否決されました。今の時代にあった新しいものが受け入れられるには一定の時間とすごいエネルギーがいることも感じました。今回の総会で長い時間かけて話し合われたことは、過去83年間の女性会を築いてくださった歴史の上に新しいものを積み上げていくことへの過程だと思っています。神様が用意してくださったこの時をこれからの糧としたいと思います。

議題の中で私が一番心痛めていたことは連盟役員の問題でした。再選の件で西教区と連盟の見解の相違があって西教区が連盟役員を出せない、そのため3名で役員を担ってほしいとのことでした。4人で担当すると思って選出された当教区の姉妹の気持ちを考えると、ものすごく辛い思いでした。東海教区の新会長の立場として、基本に戻って4人体制にしてほしいこと、各教区選出の3名の気持ちを聞いてくださいという発言をしました。それが取り入れられ、その結果4人体制で進めることになりました。東海教区の方々がそれに合わせて発言して下さり、役員としてすごく励まされ、喜びでした。

『生かされる喜びと祈り』が私達の主題です。

わたしたちは神様に生かされています。み言葉に生かされて喜んでいる姿、生き生きしている信仰生活を証していかなければいけないと思います。

新しい人、仕事を持ったひと、若いお母さんでも、入りやすい女性会になるように会員の皆様と話し合い、学び、祈りながら楽しく進めていきたいと思っています。

キリストに繋がることから出会えた私たち役員です。年代や環境の違いはありますが、それぞれに応じた働きが与えられると信じています。



## 第20期の東海教区の役員です。よろしくお願いいたします



副会長 真木雅子  
(なごや希望)



書記 牧 撰  
(浜 名)



会計 大瀧清子  
(清 水)



連盟 寺嶋文世  
(新霊山)

**第22回連盟総・大会**

6月5～6日に女性会連盟総・大会が“ツ・サイト” 柯ル舞子ビラ神戸” を会場とし

はじめて出席した連盟総・大会。広い会場のあちこちから出る活発な発言。それに応える役員、議事進行を支えられる立野牧師。それぞれのお立場での意気込みとご苦労を感じました。発言からは自己中心でなく、広い見地に立っての言葉や姿勢に学ぶものがありました。

二日目、スクリーンに映し出される被災地の実情、どんな形であれ、我が身を通しての支援の義務があることを感じ、連盟の歴史からは一日目のことも含めて「旧きをたずね新しきを知る」ことの大切さを思いました。何より強く思い課題としなければならないのは、このような会を経験する人が多くなることと感じました。加えて連盟役員が各教区から出揃う日が近づくように祈りたくなりました。感謝の二日間。聴くことと食べることで身も心も豊かになり帰宅いたしました。

(高蔵寺教会 四登瑛子)

私は、同じ教会の姉妹に勧められ、今総会の書記の役割をいただいでの参加でした。開催場所の舞子ビラは、眼前に明石大橋と淡路島という絶好のロケーションを持つ素敵なホテルで、明石海峡を歩きかう船、景色に心が癒されました。

二日間、提案された議案に沿って、思いのこもった発言が続き、成り行きに、私も一喜一憂させられました。今回の議案は、「変化」が提案された総会でした。女性会連盟の今までの歴史に、未来に向け、現代に生きる女性たちを迎え入れていく過程で生まれる痛み、せめぎ合い、を感じました。変化が生まれるのは、世代を重ねてやっとの時もあれば、何かのきっかけで一瞬のうちに果たされる時もあるかと思えます。遅い時間まで発言を重ね、思いを伝え合ったことは今後に生かされていってほしいです。

(富士教会 小谷由美子)

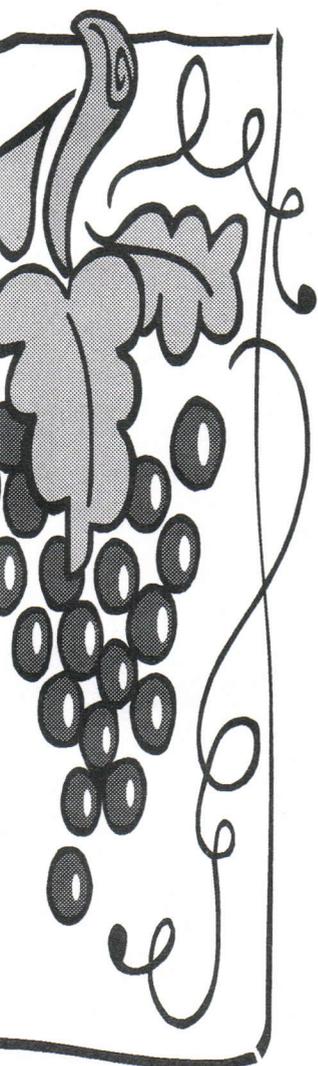
総会の議案については教区で前もって会長会を開き、役員選出の問題点を、しっかり話し合い、しましたので、心の中では大丈夫という思いがありました。

鈴木貴美子会長をはじめ、新旧役員の皆様、大勢の方から、「大丈夫、私たちがついていけるから」お言葉を頂きました。総会では、全国の皆様の並々ならぬ熱い思いが伝わり、すごいなという思いの中でも、東海教区の意見は一つにまとまっていたので、前向きな提言をして頂き、難関体制を4人体制へと導いて下さいました。本当にありがたい思いでいっぱいです。

(新霊)

## に参加して

開催されました。参加された姉妹に感想をお願いしました。



私は初めての参加でしたが、皆さんの活発な意見のやりとりに圧倒されながらも、賛否を問われると大垣教会の代表であるという認識から緊張していました。その時会員の顔を思い出しリラックスし、又緊張することの繰り返しでした。議案が多く出され、見直したり、考えることができ良かったと思えました。議場の雰囲気が悪くなった時に、神様の御心を思い起こす意見も出されてよかったです。

北海道から参加の姉妹が「次の総会は、私個人としては北海道でしたいと思います。」と言われ、私は拍手を送っていました。“19人しか”でなく、“19人も”いると思えました。大垣教会は一人の意見を大事にし、一人からでも始める教会だからです。その経験から19人だけでなく、サポートできる人はたくさんいると思えます。

女性初の牧師の門脇先生が参加されたことや、ゆったりとした静かな空間の中で兄弟姉妹との交わりを通し、キリストにつながる喜びを経験させていただいた事に感謝しています。準備をして下さった関係者の皆さまに感謝します。

(大垣教会 大場弘子)

女性会連盟総大会に初めて参加しました。私は初めてという事もあって、ただただ意見に聞き入るばかりで、自分の考えも思いつかないまま、意見の嵐に翻弄された。あっちからもこっちからもヤジが飛び交い、国会中継を見ているような錯覚をおぼえた。

二人の議長の方は、多くの意見をまとめるのに大変苦労されているのを感じた。夜の十時を過ぎても結論がつかないまま、次の日に持ち越され、何が正しいのか、神さまの意志はどこにあるだろうか、と思いながら見守った。

次の日の愛餐会で隣の方から、祖母の告別式がきっかけで信仰を持たれた話を聞いた。亡くなられたおばあさんは、まさか孫が自分の葬儀で神さまを信じるようになるとは、思ってもみなかったことだろう。私は神さまの不思議な計画を感じた。連盟総大会の疲れも、吹き飛んでしまった。人間は弱く、右へ左へ前へ後ろへと羊のごとくさまようが、確実に神はその弱き人間を導いておられると感じた。

(名古屋めぐみ教会 神崎悦子)

祈って頂いてい

。」と、温かい  
いと、大変な雰囲気  
がありました3人

寺嶋文世)

## 2012年(20期)東海教区女性会 会長会報告

去る5月19日(土)小鹿教会で42名の姉妹が集まり、会長会が行われました。午前中、開会礼拝に続き、牧師、新役員の紹介、各教会の女性会の働きについて報告をいただきました。

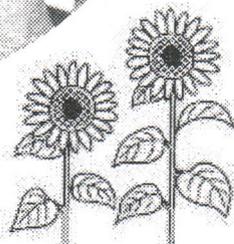
午後からは連盟総会に向けて、予定されている審議事項の内容説明と、どのような経緯でこれらの審議事項が提案されたかの説明を、前期連盟役員であった山田かな子姉からお聞きし、理解を深めました。

教区女性会に対しても、活動内容や計画の情報発信の仕方、堅信キャンプ支援金の残金の処理方法について、ご意見をいただきました。これから検討し、より多くの皆様が、ご理解いただける女性会の活動になるように努力したいと思います。

教会堂に飾られたお花、すばらしいオルガニストの演奏に感動いたしました。この日のために何日も準備して下さった小鹿教会の女性会の皆様には心から感謝いたします。  
(書記 牧 撰)

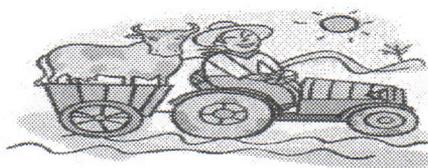


小鹿教会女性会のご挨拶



私たちの教会が会長会の会場として用いられましたことに感謝いたします。私たち小鹿教会女性会も、この会を通して、お一人お一人が力を出して下さり、喜びを持って奉仕させて頂くことができ幸いでした。  
過日、連盟総大会が開催され、総会では白熱した話し合いが持たれ、問題も山積みですが、主にあって全国の方々と愛さん会を通して交わりが持て充実したひと時でした。これから3年間の連盟、教区それぞれの役員さま方のお働きに神様からの豊かな祝福がありますようお祈り申し上げます。  
(小鹿教会 寺澤陽子)

## 福祉村から



今回の台風4号により東海地方は大変大きな被害が出ました。ディアコニアにおいても15時間にわたる停電で大変な思いをしました。夜9時から翌日のお昼までと停電が続き、真っ暗な夜を過ごされた入居者の皆様職員の不安は想像に余りあるものがあります朝昼と非常食を提供し、何とかしのぐことが出来ました。

ディアコニア始まって以来の大きな被害でしたが、職員の団結と。神様の守りにより、乗り越えられたことに感謝しております。困った時、いつも浮かぶのは女性会の方々のことです。陰になり日向になり、支え続けてくださいました。

「困った時には、いつでも声をかけてね」の声掛けに、どれだけ安心し、甘えてきたことか知れません。まさに、実践応援団でした。このように、私たちのそばにいてくださる、日常の生活の中におられる。ということを実感させられております。非常食の調達の時、入居者の方、職員を案じてくださる方がいることが大きな慰めになりました。

自然の力には無力です。そこにある意味を見出し謙虚に感謝の思いでこれからも歩んで生きたいものです。

(ディアコニア施設長 山本治子)

当施設では、様々なボランティアの方々にお手伝いいただいています。代表的な活動として、民謡や絵本・紙芝居などの読み聞かせ、詩吟やカラオケ教室などを行なっています。また、お菓子などの販売、手作りのパン販売も行なっています。その他にも、それぞれの趣味や特技を生かした活動も募集しています。

施設での大きなイベントとして夏祭りが7月中旬に開催され、ボランティアの方々の協力をいただいております。

ボランティアの存在は、ディアコニアにとっても大切な存在です。関心がある方は、ぜひ、一度施設の方へ足を運んでいただき、お話をさせていただきたいと思っております。皆様のご依頼を心からお待ちしております。

(ディアコニア・ボランティア委員長 南隆一)

## 連盟通信

7月6日(金)に、引き継ぎ会が東京教会で行われました。私は、文書担当となりましたが、わからない事ばかりです。前任者の方によくお聞きして、役員会でよく話し合いながら、この1年間は慣れるのに精いっぱいだと思いますので、あせらず進めていきたいと思っております。連盟の動きや方向性を皆様にお知らせしながら、何かと助けて頂かなくてはならない事が多々あると思っております。どうぞ、これからも、皆様の助けとお祈りをお願い致します。主と共に、皆様と共に歩んで行きたいと思っております。

(寺嶋文世)



今後の予定

尾張岐阜地区集会

- ・日時 10月27日(土)
- ・場所 名古屋めぐみ教会
- ・10時受付、10時半開始

主にある兄弟姉妹が共に集うこと、交わりをすることは決して当たり前のことではなく。神様から私たちに与えられている素晴らしい恵みである。(ホソエツア)



20期最初のアガパンサスことができました。総・大会に初めて参加された方の感想を中心にまとめました。これからもできるだけ会員の皆さんの声を掲載したいと思っていますのでよろしくお願いします。  
 “アガパンサス”の名前はギリシャ語のアガペー（神の人間に対する愛）、アンサス（花）から来ています。  
 (S. M.)